

岐阜県内中小企業の景況動向
中小企業団体情報連絡員70名(うち70名分の集計)の情報連絡票から
平成30年6月末調査(前年同月比)
岐阜県中小企業団体中央会

〔Ⅰ〕6月の特色

- ◆ 景況感D I 値マイナス13 前月比ほぼ横ばい
- ◆ その他の主要調査項目のD I 値は悪化
- ◆ 原材料価格・原油価格の上昇が経営を圧迫

〔Ⅱ〕6月の概況

当月の景気動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、好転5、悪化18で、D I 値はマイナス13となり、前月のD I 値マイナス16に対し、3ポイントの改善となった。

業種別の景気動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、製造業のD I 値はマイナス8となり、前月比で12ポイントの改善、非製造業のD I 値はマイナス18となり、前月比で6ポイントの悪化となった。

なお、回答のあった70業種のうち、前年同月比で景況感が「好転」と回答した業種は、毛織物、製材、可児工業団地、機械・工具販売の4業種(前月比+1業種)。

また、「悪化」と回答した業種は13業種(前月比-1業種)となっている。

主要な調査項目を見ていくと、売上高D I 値はマイナス12で前月比2ポイントの悪化、販売価格D I 値はマイナス6で前月比3ポイントの悪化、収益状況D I 値はマイナス26で前月比10ポイントの悪化、資金繰りD I 値はマイナス7で前月比4ポイントの悪化、雇用人員D I 値はマイナス10で前月比3ポイントの悪化となった。

コメントを見ると、製造業では、「組合員企業のアンケート調査によると可児工業団地の景況感は引き続き好調。雇用人員の指標を除いたその他の項目はプラス指標となっている。(可児工業団地)」など、プラスの内容が報告された一方で、「昨年に比べ天候要因による夏物の動きがやや活発化したものの、価格のデフレ傾向は変わらず収益も厳しい。(婦人子供服)」など、マイナスの内容が報告された。

非製造業では、「景気の回復に合わせ、設備投資の需要も伸び工作機械の受注ではかつてない金額を記録している。業界の景況が好転している要因として、輸送機器・一般機械などが堅調に推移し、設備投資も順調なことが挙げられる。(機械・工具販売)」など、プラスの内容が報告された一方で、「6月も引き続き低調に推移している。組合員から明るい話が聞こえてこない状況。(陶磁器卸)」、「今月も商品において動きの浮き沈みがあり安定しておらず、厳しい状況が続く。前年同月比：売上96%、入荷89%。(生花販売)」など、マイナスの内容が報告された。

その他、「パルプの単価上昇や原油価格の上昇等々、製造コストの上昇により収益構造が悪化している。(機械すき和紙)」、「諸材料費が高騰しており、生産コスト面などから収益は悪化している。(金属製品(輸出))」、「長期に渡る燃料費(軽油)高騰による経営圧迫も続く。(貨物運送業)」など、原材料価格・原油価格の上昇による経営への影響を伝える内容が報告された。

<主な調査項目での動向>

売上高の動向は、前年同月比で増加20、減少32でDI値はマイナス12となり、前月のマイナス10に対し、2ポイントの悪化となった。

売上高が増加した業種は14業種（前月比±0業種）あり、菓子、米菓、毛織物、機械すき和紙、プラスチック、砕石生産、刃物等金属製品（内需）、メッキ、県金属工業団地、可児工業団地、機械・工具販売、理容・美容業、土木（岐阜地区）、土木（飛騨地区）である。

売上高が減少した業種は23業種（前月比+2業種）あり、特に木材・木製品、窯業・土石、商店街、サービス業の区分で多かった。

販売価格の動向は、前年同月比で上昇8、低下14でDI値はマイナス6となり、前月のマイナス3に対し、3ポイントの悪化となった。

販売価格が上昇した業種は6業種（前月比-2業種）あり、牛乳、食肉（国産）、毛織物、特殊紙、石油製品販売、貨物運送（県域）である。

販売価格が低下した業種は10業種（前月比±0業種）となった。

収益状況の動向は、前年同月比で好転5、悪化31でDI値はマイナス26となり、前月のマイナス16に対し、10ポイントの悪化となった。

収益状況が好転した業種は4業種（前月比-2業種）あり、毛織物、刃物等金属製品（内需）、メッキ、可児工業団地である。

収益状況が悪化した業種は22業種（前月比+5業種）あり、特に木材・木製品、卸売業、商店街、運輸業の区分で多かった。

資金繰りの動向は、前年同月比で好転0、悪化7でDI値はマイナス7となり、前月のマイナス3に対し、4ポイントの悪化となった。

資金繰りが好転した業種は0業種（前月比-2業種）となった。

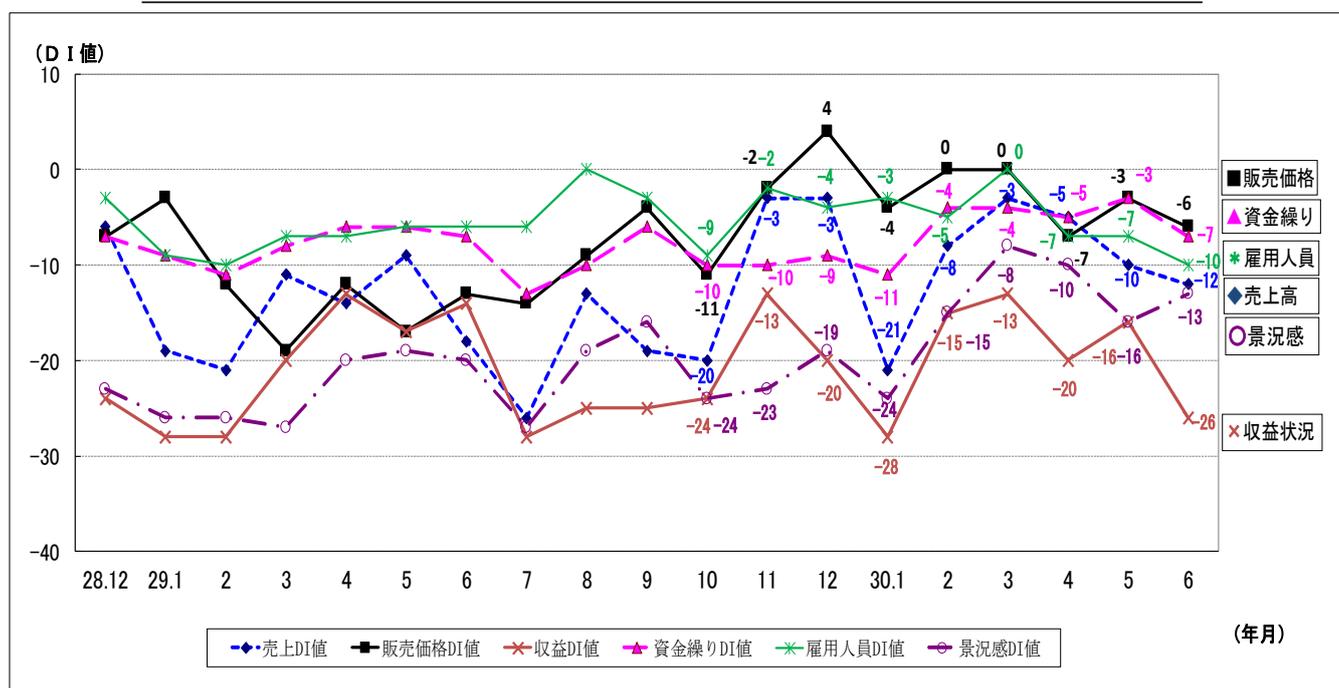
資金繰りが悪化した業種は5業種（前月比+1業種）となった。

雇用人員の動向は、前年同月比で好転4、悪化14でDI値はマイナス10となり、前月のマイナス7に対し、3ポイントの悪化となった。

雇用人員が増加した業種は3業種（前月比-2業種）あり、米菓、水産物商業、木造建築である。

雇用人員が減少した業種は10業種（前月比±0業種）あり、特に紙・紙加工品の区分で多かった。

売上高、販売価格、収益動向、資金繰り、雇用人員、景況動向 DI値の推移(前年同月比)



〔Ⅲ〕業種別(製造業・非製造業) 動向 (6月末調査)

1. 製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳	△	○	△	△	△	△
	食肉(国産)	△	○	▲	△	△	▲
	菓子	○	△	▲	△	△	△
	米菓	○	△	△	△	○	△
	製麺	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	撚糸	△	△	△	△	△	△
	ニット工業	△	△	△	△	△	△
	毛織物	○	○	○	△	△	○
	合成繊維織物	△	△	△	△	△	△
	メンズアパレル	▲	△	▲	△	△	△
	婦人・子供服	△	▲	▲	△	△	△
	縫製(既製服)	▲	△	▲	▲	▲	△
木材・木製品	製材	△	△	△	△	△	○
	銘木	▲	▲	▲	△	△	△
	家具	▲	△	▲	△	△	▲
	東濃ひのき	△	△	△	△	△	△
紙・紙加工品	機械すき和紙	○	△	△	△	▲	▲
	特殊紙	▲	○	△	△	▲	▲
	紙加工品	△	△	△	△	△	△

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
印刷	印刷	△	△	▲	▲	△	△
化学ゴム	プラスチック	○	△	△	△	△	△
窯業・土石	陶磁器(工業)	△	△	△	△	△	△
	タイル	▲	△	△	△	△	△
	窯業原料	▲	△	△	△	△	△
	石灰	▲	▲	▲	△	△	▲
	生コンクリート	△	△	△	△	△	△
	砂利生産	▲	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	砕石生産	○	△	△	△	△	△
	鋳物	△	△	△	△	△	△
	刃物等金属製品(輸出)	△	△	△	△	△	△
	刃物等金属製品(内需)	○	△	○	△	△	△
一般機械	メッキ	○	△	○	△	△	△
	県金属工業団地	○	△	△	△	△	△
	可児工業団地	○	△	○	△	▲	○
輸送用機器	金型	△	△	△	△	△	△
	輸送用機器	▲	△	▲	△	△	▲

凡例
 ○ ⇒ [増加]、[上昇]、[好転]
 △ ⇒ [不変]
 ▲ ⇒ [減少]、[下降]、[悪化]

2. 非製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸売業	電設資材卸	△	△	△	△	△	△
	陶磁器産地卸	▲	△	▲	△	△	▲
	機械・工具販売	○	▲	▲	△	△	○
小売業	青果販売	▲	▲	▲	△	△	△
	水産物商業	△	△	△	△	○	△
	家電機器販売	△	△	△	△	△	△
	メガネ販売	△	△	△	△	△	△
	中古自動車販売	△	▲	△	△	▲	△
	石油製品販売	△	○	△	△	▲	△
	共同店舗(飛騨)	▲	△	△	△	△	△
	生花販売	▲	▲	▲	▲	△	△
商店街	商店街(岐阜)	▲	△	▲	△	△	▲
	商店街(大垣)	△	△	△	△	△	▲
	商店街(高山)	▲	△	▲	△	△	▲
サービス業	自動車車体整備	△	△	△	△	△	▲
	長良川畔旅館	△	△	△	△	△	△
	下呂温泉旅館	△	△	△	△	△	△
	高山旅館	▲	△	▲	△	△	△

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
サービス業	クリーニング	▲	△	△	△	△	△
	広告美術	▲	▲	▲	▲	△	▲
	旅行業	▲	△	▲	△	△	△
	理容・美容業	○	△	△	△	△	△
建設業	土木(岐阜地区)	○	△	△	△	△	△
	土木(飛騨地区)	○	△	△	△	△	△
	建築設計	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	鉄構造物	△	△	△	△	△	△
	電気工事	▲	△	△	△	▲	△
	管設備工事	△	△	△	△	△	△
	建築板金	△	△	△	△	△	△
	室内装飾	△	△	△	△	△	△
	木造建築	△	△	△	△	○	△
運輸業	貨物運送(県域)	△	○	▲	△	▲	△
	軽運送	▲	△	▲	△	△	△
その他の非製造業	貸植木業	△	▲	△	△	▲	△

凡例	○ ⇒	[増加]、[上昇]、[好転]
	△ ⇒	[不変]
	▲ ⇒	[減少]、[下降]、[悪化]